

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
体育科指導法Ⅱ		古木 竜太	実技	1	後期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	<p>体育指導について理解を深めるために、以下の項目達成を目標とする。</p> <p>(1) 体育科指導法Ⅰで学んだ実践をもとに運動学習構造、学習指導スタイル、評価方法を理解する。</p> <p>(2) 子どもの自発性を生かし、能力を高めるための学習過程について学ぶ。</p> <p>(3) 幼稚園・小学校の連携を見据え、保育者・指導者として必要とされる資質を身につける。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	体育科教育学の性格とねらい	体育科教育学の性格、体育科教育学の課題領域			
2	教科としての体育	手段論と目的論の統合、体育の内容			
3	学習主体について知る	現代社会と子どもの変容、体力・運動技能の発達、子どもの学習意欲			
4	よい体育授業の前提	体育の目標、楽しさの位置づけ、子どもからみた授業評価の観点			
5	子どもが評価する体育授業	子どもからみた授業評価、二重構造からなるよい体育授業の条件			
6	よい授業のための基礎的条件	学習の規律について、教師の肯定的な働きかけ、情緒的回報や学習集団の肯定的な関わりについて			
7	良い授業のための内容的条件	明確なめあて、教材や場の工夫、学習方法の形式			
8	教材づくりの意義と方法	教材とは何か、教材作りの必要性、教材作りの過程とその基本的視点			
9	「わかる・できる」学習の意義	「わかる」と「できる」の関係をめぐる対立する見解について			
10	体でわかる学習	論理的認識に先立つ身体的認識の授業			
11	発見を大切にした学習指導	「演示－観察－発問－相互学習」について			
12	「わかる・できる」を大切にした学習指導	体育学習における子どもの「かかわり方」「でき方」			
13	学習指導スタイルと子どもの評価	学習指導スタイルと子どもの評価			
14	ディスカッション（１）	各課題で生じた問題に関する討議			
15	ディスカッション（２）	学校教育における体育科教育に関する討議			
参 考 書	<p>高橋健夫編著「体育の授業を創る創造的な体育教材研究のために」大修館書店 1994</p> <p>高橋健夫編著「体育授業を観察評価する 授業改善のためのオーセンティック・アセスメント」明和出版 2004</p>				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	学校指定の体操着・ジャージおよび運動靴（室内・屋外用）				
評価の方法と時期	授業中の態度および出席状況で総合的に判断する（授業終了後）。				